



爆裂都市 (EXPLOSIVE CITY)

2005(平成17)年1月10日鑑賞(ユウラク座)

監督=サム・レオン/出演=アレックス・フォン/サイモン・ヤム/しらたひさこ/千葉真一/クリスタル・クオック/エドウィン・シュウ (アートポート配給/2004年中国、香港映画/98分)

……日本ではマイナーな映画だが、タイトルからわかるように『インファナル・アフェア』と同じような男同士の対決をテーマとした面白いストーリーの映画。注目すべきは準主役級で登場している日本人女優のしらたひさこの好演！ マスコミの流すニュースばかりではなく、自分の目や耳で情報を集めてこのような楽しい映画を観てみたいものだ。私的には、かなりのお薦め作ですよ……。

香港映画の掘り出しモノ……？

「韓流」全盛の日本だが、2004年には『インファナル・アフェア』(02年)や『2046』(04年)など香港映画の話題作も多かった。

私が2004年12月に観た『レディ・ウェポン (赤裸特工)』は日本では全然知られていない香港映画だったが、非常に面白かったもの。そして2005年の最初に観たこの『爆裂都市』も、香港映画の掘り出しモノ……？

これを上映していたのは天六のホクテンザの地下にあるユウラク座というマイナーな映画館。そして、観客は10名程度。ほとんど宣伝されていないのだから多くの日本人が知らないのも無理はないが、『インファナル・アフェア』と同じようなこんな面白い映画が広く知られていないのは、何とももったいない……？

千葉真一ともう1人の日本人！

『柳生一族の陰謀』(78年)にも出演していた有名な千葉真一は、JAC (ジャパンア

クションクラブ)の創立者としても有名なアクションスター。最近では、あの『キル・ビル Vol. 1』(03年)でちょっと変わった「チョイ役」(?)で登場していたが、この映画でも出番は多くはないものの、「オトウサン」という重要な役柄で登場する。この映画については、事前の知識を全く持たないまま観に行ったので、この千葉真一がいい役なのか悪い役なのかも全く知らなかったが、実際は極めつけの「悪役」！しかし複雑な人生観(?)を持った悪役をきっちりと決めるあたりはさすがベテラン。もう1人の日本人は1982年生まれの若い女の子のしらたひさこ。この映画で重要な女暗殺者ジェイド役で登場している女の子が、『完全なる飼育 秘密の地下室』(03年)で初主演を果たした女優のしらたひさこであったことはパンフレットを見てはじめて知ったもの。それほど美人ではないが(失礼?)、個性的な顔立ちでこの映画の役柄にはピッタリ。

主役のミン刑事(アレックス・フォン)とチョン管理官(サイモン・ヤム)との間に割り込んで、この映画の出来に大きな役割を果たしている。

日本のマスコミや評論家も、宮崎駿監督の『ハウルの動く城』(04年)を観て、「すばらしい、すばらしい」という、あたかも昔の日本の「大本営発表」のような評論ばかりせず、こういう映画にも興味を示し評論してもらいたいものだ。

2人の刑事の対決とそのオモテ・ウラ

ミン刑事とチョン管理官との「男の対決」はまさに『インファナル・アフェア』そのもの。アンディ・ラウやトニー・レオンほど有名ではないものの、アレックス・フォンもサイモン・ヤムも香港では有名らしい。そして、ミン刑事もチョン管理官も真面目で優秀な刑事(警察幹部)というイメージが最初に示されているから、ストーリーの展開につれてそのオモテとウラが見えてくると、アッと驚く意外性が面白い。

ややこしい話を実にうまくまとめたもの

この映画は登場人物が多く、そのストーリーも結構ややこしい。しかし、登場人物それぞれの人物像がはっきりしているので、それを楽しみながらストーリーを追っていくことができる。ミン刑事の直接の上司がチョン管理官だが、実はチョン管理官は「オトウサン」の仲間……？ また、行政庁長官の暗殺をジェイドに命じたのも「オトウサン」。そして、そんなややこしい上層部の動きの犠牲となってしまうかわいそ

うな刑事が、第一線で捜査に従事するミン刑事の部下のクワン刑事（エドウィン・シユウ）や女性刑事のエイダ（クリスタル・クォック）。この他にもさまざまなキャラの人物が登場し、それらが複雑に絡まりながら展開されていく『爆裂都市』というストーリーは実に面白い……。

サム・レオン監督にも注目！

私は知らなかったが、この映画のサム・レオン監督は、『無問題』（99年）にプロデューサーとして参加し、『無問題2』（01年）も手がけたとのこと。私はこの『無問題』のようなマンガ的な映画（？）は興味がないので観ていないが、彼は『完全なる飼育 香港情夜』（02年）も監督しているとのこと。これは竹中直人が出演した映画で、私も是非観たいと思いながら見逃していたもの。このような話題作を提供しており、この『爆裂都市』のような面白い映画を監督しているのだから、今後もこの監督の作品には注目していかなければ……。

2005(平成17)年1月11日記